

印西大師 番外 大森・前畑堂

- 1 名称 (No.103/205)〔手引鏡：前畑堂〕〔資料館：○印〕
- 2 場所 印西市大森字前畑(まえばた)2015付近
大森共同墓地内
大森・星光院から道程約650m。道路沿い。
GPS座標 35.83117399460412, 140.14017401883677
- 3 由緒 天台宗
前畑1989に長楽寺の「前畑寮」があったが昭和40年代に消滅した。(平成6年寺院堂庵明細表)
- 4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が2体あり。御堂の屋根など傷みが激しい。
- 5 境内 大師堂の裏は共同墓地
- 6 写真 (2022.08撮影)



大師堂



大師堂



大師堂



大師堂



御大師様



大師堂の前の道路

7 情報

(1) 上宿古墳

大森上宿(かみじゅく)の竹林中に存在する上宿古墳は、横穴式石室を持つ方墳です。この古墳は、木下員層から切り出した石材を積み上げて造った埋葬のための部屋が良好な状態で残っています。残念ながら古墳全体の形はだいぶ変形してしまっているのではっきりわかりませんが、このような横穴式石室(埋葬のための部屋)を持つ古墳は、7世紀後半に造営されたものだと考えられています。それは、栄町の岩屋古墳、成田市の上福田13号墳などと同様な材質、構造の石室を持つ、造営時期が7世紀後半から8世紀前半の方墳とされているためです。



2021.10 撮影

上宿古墳の主な概要として、現存している墳丘の大きさは、東西約5.5m、南北約3.8m、比高約

1.2mです。この古墳の特徴である石室は主軸を南北にとり、南に開口しています。単室で旧表上をかなり掘り込んだ「堀方」の中に構築された「半地下式」の石室です。全長は羨道(せんだう。玄室という棺を納める部屋に通ずる道)の石積みのある部分の端から奥壁まで5.1m、奥壁の幅は2.05mです。また、石材は貝殻化石岩が使用されています。昭和48年1月19日に町の史跡に指定されました。(印西名所図会)